

ぎやらりー わ

NO.83

2018年7月号

編集・発行 NPO法人グループわ (水町亮治) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号 TEL078-743-8101 FAX743-3830



●花の村内散歩
あじさい



事業報告する水町理事長

組織の活性化と運営の効率化を!

グループわ 第15回 定期総会を開催

新体制でスタート

NPO法人グループわ の第15回定期総会は、5月26日(土曜日)にカレッジホールで開かれ、29年度の事業報告と30年度の事業計画並びに、水町理事長以下の新役員が満場一致で承認されました。水町理事長は「〈わ〉の会員は5月1日現在で1452人の大きな組織。昨年7月に設立20周年を迎え、グループわ をシニア世代の新たな社会参加の実践例として広く対外に知らしめることが出来た。会員の皆さまのご支援、ご協力よろしくお願ひします。」とあいさつ。新任の理事6人、非常勤理事、監事も含め20人の新体制で30年度の活動がスタートしました。総会后、功労会員に選ばれた会員8人と2団体の表彰式も行われました。午後からは、「交歓会」(舞台パフォーマンス)が開催され、グループ11団体が参加。日ごろの練習の成果が披露され、熱い拍手が送られました。(写真・藤下裕史:生21、編集・八木) 2、3、4、5面に関連記事



ボランティアの
輪をひろげよう

国際部会紹介 各グループの取組と課題

83
号
の
内
容

15回総会詳報 功労会員表彰

2~5面

国際部会の取組と課題

6~7面

グループわ 7~9月予定

7面

活動レポート

6~7面

カレッジだより 学習支援の取組

8~9面

わだより We loveもったいない報告

10面

トピックス

11面

12面

第15回定期総会

水町理事長体制、2年目の出発

組織の活性化と 社会参加活動の推進

総会は午前10時に増金スミ子さん(福11)の司会で開会。最初に水町理事長は「本日の総会は、第15回目ですが、昨年7月には結成20年を迎えました。一人ではなくグループで社会還元しようということで、部会グループ数60、加入メンバー1450人を超える素晴らしい組織になりました。また9区会がさまざまな地域活動もおこなっています。これからも元気に、活動していきましょう。」と挨拶。

来賓を代表してシルバーカレッジ服部祥子学長から「グループわはKSCを卒業したみなさんの、様々な活動を通じて「再び学んで他のために」という精神をまさに真の意味で実践してきた高い志が感じられます。そのような中で、皆さんがボランティア活動を通じ人のために生きるそしてそれは実はとりもなおさず自分自身をいきいきと生きることになると思います。助ける側、助けられる側が共生する社会に向けて、これからも力強く活動されることを期待しています。」との祝辞がありました。

続いて議長に土井昭政氏(国10)を選出「出席者218委任状686の計904で定足数726(会員総数1452人の2分の1以上)を上回っており、総会は成立」との報告があり、議事に移りました。平成29年度の事業報告と決算報告があり、小畑監事の監査報告の後に拍手

で承認。

続いて新役員(下表)が拍手で承認され、水町理事長より平成30年度事業計画が提案されました。事業計画の内容は多岐にわたりますが、組織強化のポイントは①KSC学生の卒業後の入会促進と在校生への入会の働きかけ②本部と区会・部会との連携強化を図り会員活動の活性化③〈わ〉の活動に関する情報共有化とPRの推進など。平成30年度の事業計画、事業予算は原案通り拍手で承認され、11時過ぎに議事を終了。次いで、新役員・区会長・部会長を紹介。その後功労者表彰がおこなわれました。(詳細3ページ参照)

(報告・八木)



新役員紹介

水町理事長(右端)は「本年度も組織の活性化と運営の効率化並びに社会参加活動の推進と情報の共有化が必要です」と訴えました。

平成30年度 新役員体制

(*)理事長及び副理事長は、定款第14条に基づき、6月5日開催の理事会で理事の互選により以下の通り選任されました。

理事長	水町 亮治	(生18) = 中央
副理事長	大槻 隆文	(食20) = 企画・西
副理事長	浜田 哲夫	(生21) = 広報・長田
理事	増井 良夫	(生21) = 企画・須磨
理事	真川 俊雄	(福21) = 総務・須磨
理事	五島 敬子	(食20) = 財務・中央
理事	才上 眞行	(生21) = 広報・北
理事	川部 忠夫	(福20) = 事業・須磨
理事	安部 文隆	(福21) = 事業・北
理事	岸野 清美	(福21) = 事業・須磨
理事	阪田 國彦	(福18) = 事業・長田
理事新任	九鬼 美代	(音22) = 総務・西
理事新任	森本 和摩	(園22) = 総務・北
理事新任	富澤 郁恵	(音22) = 財務・須磨
理事新任	八木 清	(園22) = 広報・北
理事新任	南 謙二	(福22) = 事業・西

理事(非)	道満 俊徳	(生13) = 区会長・北
理事新任(非)	重松 豊彦	(国 9) = 部会長・東灘
監事	小畑 浩昭	(国16) = 北
監事	岡本 紘一	(生18) = 垂水

【区会長】 東灘=宮田 幸長(美17)
 灘 = 廣瀬 庫司(園17) 中央=島ノ江 繁吉(生18)
 兵庫=小椋 宗二(食21) 北 = 道満 俊徳(生13)
 長田=藤本 誠(音20) 須磨=細野 恵久(福 3)
 垂水=藤下 裕史(生21) 西 = 鈴木 隆美(生18)

【部会長】 福祉=加藤 勇治(美10)
 国際=中川 周平(国20) 環境=奈島 伴治(生20)
 文化=重松 豊彦(国 9) いきが い=岸野 清美(福21)
 ◇ 須磨一ノ谷プラザ責任者=田路 義弘(生17)
 ◇ 学習支援委員会 委員長=岡本 紘一(生18)

功労賞 個人8名と2団体を表彰

グループわの平成30年度功労賞に選ばれた個人8名・団体2グループが第15回定期総会で表彰されました。表彰式には選ばれた個人8名とグループ代表2名の計10名全員が出席。水町理事長から「長年にわたってボランティア活動に励み、グループわの発展に貢献されました」と感謝の言葉があり、表彰状と副賞が手渡されました。その後、皆さんの活動ぶりがパワーポイントで紹介されました。紙面の都合により、受賞者の言葉を今号と次号に分けて掲載します。



受賞された皆さま（順不同、敬称略）

- 会員表彰**
- ①坪井 幸子（生環 3期）
 - ②中村 吉宏（国際 5期）
 - ③森 佳代子（生環 6期）
 - ④西尾 孟三（生環 7期）
 - ⑤佐伯 義昭（国際 8期）
 - ⑥長谷川 博（生環 9期）
 - ⑦土井 昭政（国際 10期）
 - ⑧山田 淑子（食文 10期）

- グループ表彰**
- ①神戸ぴかぴか隊（代表：新葉 薫）
 - ②書道部（代表：横田 忠男）

人々とのつながりに感謝して

生環6期 森 佳代子

平成11年、カレッジ在学中に先輩よりCo2吸収が他の植物より数倍多いと言われているケナフの栽培を依頼され、6期の仲間達とケナフクラブを立ち上げました。ケナフ表皮を使った紙すきでは中学生、小学生、幼稚園児に指導し、大変喜ばれて逆に元気を頂いています。

平成16年、いかり作業所より紙すき指導依頼があり、お手伝いをするようになりました。押花でのシール作りやその他作業の手伝いをして、元気とよろこびを頂いております。



ビオトープの今後を見守りたい

生環3期 坪井 幸子

ビオトープの会が発足した頃の若い樹木も成長し、作業後の私達の寛ぎ空間に緑陰を作っています。山野草はチガヤ・外来植物から守らねば昆虫の多様性もかなわず、池の中も水生昆虫やメダカの増加を目指し、ザリガニ退治にアイデア全開という賑やかな活動を、春夏秋冬、自然の中で楽しんでおります。

これは近年の卒業生の強力な参加で、活動がさらに活性化したからです。これまで多くの方が活動され、去って行かれたビオトープの今後を、今暫く見守らせてください。



学ぶことが多い訪問活動

食文10期 山田 淑子

カレッジ在学中から大正琴プリムラ、卒業してから絵手紙と、先輩が立ち上げられてきたボランティアをこつこつと無理なくやってきました。

訪問先では、私たちが反対に学ぶことが多いと感じます。懐かしい歌に涙される方、大きな声で楽しそうに歌われる方、時にはその頃はこうだったと昔話をされる方等、いろいろです。次回を楽しみに待っているよとの言葉にボランティアを続けていて良かったと思います。これまで続けられたのは、部全員の「和」「輪」「協力」があってこそです。



印象に残る車椅子テニスと特別支援

国際10期 土井 昭正

平成18年3月にシルバーカレッジを卒業。グループわに入会し、その後国際部会、北区会などで種々のボランティア活動をしてきましたが、印象に残るのは、車椅子テニス大会と小学校の特別支援です。いずれの場合も障害がある方へのボランティアで、皆様に何らかのお手伝いをする事で大いに生きがいと喜びを感じました。

とくに児童と接することは、将来の若者の考え方や行動を知ることが出来、楽しくまた勉強になります。私は、今年80歳になりましたが、引きつづき同様のボランティアとグループわのボランティア活動を続けたいと思っています。



グループわ 総会 交歓会

11グループが熱演

昼食休憩をはさんで12時30分からカレッジホールで「区会・部会の活動報告」をパワーポイントで紹介しました。続いて交歓会（舞台パフォーマンス）を実施しました。文化部会の「SCハワイアンズ」「大正琴プリムラ」「うらしまたろう」「KSC詩吟同好会」「フルートクラブ ジークレフ」「わらい届け隊」「KSC民謡クラブ」「KSC手話ソング同好会」「楽遊クラブ銀雅」「須磨トレモロクラブ」「KSC男声合唱団」の11グループが舞台上で登場し、熱演を披露しました。

SCハワイアンズ



ホロホロカー他3曲を熱演

大正琴プリムラ



60年代メロディー他を演奏

うらしまたろう



大道芸 南京玉すだれ

KSC OB詩吟同好会



大楠公他2曲を熱唱

フルートクラブ ジークレフ



組曲「ドラゴンクエスト」他4曲を演奏

わらい届け隊



わらいまショーの熱演

KSC民謡クラブ



大島あんこ節他2曲を熱唱

KSC手話ソング同好会



365歩のマーチ、糸、見上げてごらん夜の星を～ぼくらのうた を演じる。

楽遊クラブ銀雅



一円玉の旅がらす、俵つみ唄、だんじり を演技。

須磨トレモロクラブ



月の砂漠、知床旅情、千曲川、故郷 を演奏。

KSC男声合唱団



Sing Along, 見上げてごらん夜の星を、海その愛 を合唱。

九鬼美代（総務担当、音文22）
 在学中はボランティア活動にはほぼ縁のない学生生活でした。入学式の学長のお言葉「再び学んで他の為に」はいつも気になっていました。「わ」のお手伝いのお話をいただいたとき、他の為に少しでもお役に立てればと……
 とにかく3年間元気で、たくさん笑って頑張ります。

新理事（常勤）の一言

森本 八木



九鬼 富澤

富澤郁恵（財務担当、音文22）
 むかしあそび研究会を通して“わ”の事は少し知っていましたが、何の知識もないまま縁あってこの度“わ”の業務に携わることになりました。
 「再び学んで他の為に」精神で幅広く活動されている会員の皆様のお役に立てるよう、微力ながら頑張らせて参ります。

森本和摩（総務担当、園芸22）
 この度、“わ”本部での業務に携わることとなりました。現在1400余名の方々が在籍されています。皆さん、会員であることを実感できるような、そんな“わ”に出来ないかな・・・こんな思いでいます。よろしくお願いします。

南 謙二（事業担当、健福22）
 学生時代の木工グループを通して“わ”との接点はありましたが、今回“わ”本部に入って、幅広い組織であることが分かりました。事業部の一員として本部主催事業の遂行と、区会・部会の皆様との繋がりを保ち“わ”の会員の皆様の役に立つお手伝いが出来れば良いなと考えています。

八木 清（広報担当、園芸22）
 “わ”の活動について、十分に知らないまま“わ”の一員としてお手伝いすることになりました。在学中の情報誌編集の経験を活かし、広報担当としてぎやらりーわの編集等にたずさわることになりました。皆様のご協力について、よろしくお願いします。

国際部会

「部会行事」参加者を増やしたい！！ 多彩な交流活動を継続拡大へ

国際部会（代表：中川周平氏・国20）では、毎月第1月曜に定例ミーティングを開催しています。ぎやらりーわ編集部は6月4日ミーティングにお邪魔して、部会の活動状況や今後の目標等についてお聞きしました。この日は国際部会代表が柳川瀬さんから中川さんに替わった第1回の会議。国際部会伝統のコミュニケーション重視の運営は、大いに参考になると感じました。以下、グループ代表の皆さんからのコメントです。（編集・浜田）

6/4月例定例ミーティングにて➡



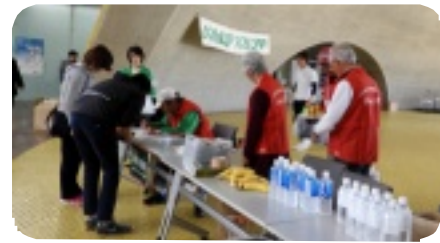
国際部会の組織と活動

5グループが連携して活動推進

- 1) 部会行事グループ：全部員85名で構成
活動内容①わ本部事業部と連携した国際交流事業対応
②その他 国際親善・交流に係る活動
- 2) PHD協会支援グループ：部会員16名で構成
活動内容・PHD協会への支援活動
- 3) 英語点字活動支援グループ：部会員17名で構成
活動内容・日本の童話の紹介や、朝日新聞の天声人語（英語）を点訳し、アジアの国々の視覚障害児へ提供する活動
- 4) ミャンマー支援グループ：部会員8名で構成
活動内容・ミャンマー留学生との交流やミャンマーへの種々支援
- 5) 台湾交流支援の会グループ：部会員10名で構成
活動内容・台湾留学生や、現地大学との交流活動

“他団体との連携等、活動範囲を広げていきたい”

国際交流活動を楽しみながら行う国際部会は、毎月一回定例会議を開催し、各グループ活動実績報告や、部会全体で取り組むイベントへの対応打合せ、わ本部運営委員会決定事項伝達等を議題としています。例会議事録は、期別連絡員より全部員に配信し、情報の共有を図っています。今後、神戸市内に在る他の国際交流団体（神戸YMCA、神戸シアトル姉妹都市協会等々）と連携し、活動の範囲を広げていきたい。（代表 中川周平）



Dunlop Kobe Open2018
女子S優勝の上地結衣選手 同 受付業務

国際部会行事グループの活動内容 代表：中川周平

1. 神戸市主催神戸国際フェアへの参加
 2. Dunlop Kobe Open(国際車いすテニストーナメント)の運営支援
 3. KSC学園祭 寄付資金調達目的の模擬店運営
 4. 神戸マラソン出発広場総合受付 通訳及び英語案内
 5. わ本部事業部と連携し、日本文化(茶道・書道・生け花等)紹介の受付、接待通訳
 6. その他：留学生交流会、外国船入港時案内通訳
- 〈今後の課題〉 上記活動への参加人数は20名程度だ。部会行事情報の周知を図り、活動参加者の増加を目指す。

日本文化紹介・通訳

神戸マラソン受付

PHD支援グループ 代表：中川周平

1. 毎年4月に来日する3人の研修生に対する、YMCAと連携した日本語学習支援
2. PHD協会が運営資金の足しにするため売却する古切手の縁の切り揃えや、外国切手、未使用切手の仕分
3. その他、PHD協会の要望を受け、必要備品の寄付や研修生との成果発表会参加等を通じた交流活動〈今後の課題〉
同内容の支援活動を「KSC国際交流友の会」や「わ中央区会」も行っている。今後、それらグループと連携を深めより効果的な支援を実行していく。



研修生日本語学習支援 支援切手整理



英語点字の名刺作りデモ

ミャンマーに送付した点訳本



各グループの取組と課題

英語点字活動支援グループ 代表 古賀優二

1. 世界の名著や児童文学の英語本を点訳し、アジア諸国の盲学校等に寄贈する。発展途上国では視覚障害者が英語を学ぶための点訳本が不足しており、点訳本の寄贈は有意義だと考えている。
 2. 英語点字の研修会を定期的に開催し、現役部員のスキルアップを支援する。
 3. KSC学生向け英語点字授業の講師を担い、英語点字への理解、普及を図る。
- 〈今後の課題〉 支援活動を継続するため、点字のPR 新人研修、点字監修などを通して、新人入会活動を一層支援する。

ミャンマー支援グループ 代表 北山 秀俊

2005年春国際9期卒業生でスタートした活動は今も続いている。主な活動はミャンマー旅行を組み、英語点字本（KSC英語点字本クラブ作成）をヤンゴンとピンウールン盲学校に届ける事。私が10度ヤンゴン盲学校へこの点字本を届けたことから、「わ」2017年度総会で功労賞を受賞した。ミャンマー留学生との交流を、国際部会例会日や奈良・王子動物園で行う。ミャンマー語講座を月1回「NPO法人神戸ミャンマー皆好会」で共に学習。



留学生交流でポータル案内

ミャンマー語講座



2018.3.台中「曉明長青大学」との交流にて

*)文中の「神戸だより」はグループわHPで閲覧できます

台湾交流支援の会 代表 小高 功

民間交流を通じて日本・台湾間の親善を促進するため2か所の台湾シニア団体への訪問(1,2年に1回)を継続し、また台湾よりの来日(過去1回の実績)の環境づくりを行っている。その一つとして「神戸だより」を月一回の頻度で発行・送付し、神戸の観光スポット、文化、イベントを紹介。更に新交流先の発掘活動に努めている。

また兵庫日華親善協会の留学生委員会と協力して、台湾留学生に対する神戸散策会・懇親会他の活動を継続し、関西地区の他関連団体と協力しての親善活動の推進を模索している。

グループわ 関連 7-9月スケジュール

神戸観光局	7/ 9(月)神戸商工会議所 (華道、国際部会)
グリーンスクール	7/12(木)保養センターひよどり
しあわせの村まつり	7/28(土)しあわせの村 (むかしあそび研究会、うらしまたろう)
夏休み工作塾	8/ 4(土)しあわせの村研修館
須磨体育館イベント	8/ 5(日)須磨体育館 (むかしあそび研究会)
新舞 (あらいぶ)	9/23(日)元町大丸北道路

施設訪問等のイベント(本部事業担当)

ぼー愛	7/ 5(木)わらい届け隊
	7/12(木)楽遊クラブ銀雅
	7/19,26(木)太極拳ゆったり体操
	8/ 2(木)わらい届け隊
	8/ 9(木)楽遊クラブ銀雅
	8/16,23(木)太極拳ゆったり体操
きらくえん	7/ 6(金)楽遊クラブ銀雅
	7/18(水)SCハワイアンズ
	8/ 3(金)詩吟同好会
塩屋北地域福祉センター	7/ 6(金)男声合唱団
名谷すみれ苑	7/11(水)混声合唱団コーロKSC
透鹿園	7/15(日)SCハワイアンズ
	8/25(土)SCハワイアンズ
ツクイ松宮台	8/23(木)混声合唱団コーロKSC
聖ミカエル幼稚園	8/23(木)むかしあそび研究会

活動レポート

【国際部会】【北区会】 国際車いすテニスを支援

DUNLOP KOBE OPEN (国際車いすトーナメント) の第25回大会が4月26日～30日三木市のブルボンビーンズドームで行われました。今年もグループわ国際部会、北区会からボランティアとして、関空での送り迎えから、西神オリエンタルホテル～会場まで搭乗して送り迎え、及び荷物の運搬の他、会場での飲み物、弁当配布、汚物回収など早朝から夕方まで奮闘しました。



【文化部会】 混声合唱団コーロKSC 第11回定期演奏会を開く

「混声合唱団コーロKSC」の第11回定期演奏会が、5月20日(日)神戸文化ホール・大ホールで開かれました。

今回の演奏会は、ステージごとに「希望する団員が歌う」という新しい試みや、ミサ、ポピュラー、愛唱歌、全員による日米友好の歌、大中恩「五色桜」で幕を下ろすなど趣向を凝らした舞台に満員のホールも盛り上がりました。



【本部直轄】 夏の森林浴ウ初オーク

北区大沢の里眺望コース散策

グループわ主催(森の仲間協力)初夏の森林浴ウォークが6月13日(水)開催され、幸い梅雨の合間の晴天に恵まれ、25人が参加しました。

神鉄岡場駅前に集合し、バスでフルーツフラワー口迄行き、歩き始めました。金毘羅山展望所から天狗岩を見て、光山寺を経て、光山寺公園で昼食をとり、棚田に到着。棚田は山間部の斜面に階段状につくられた水田で、田植えをされている田んぼもあったが、神戸の棚田を眺望し堪能しました。



【本部直轄】花実の森

2018年親子カブトムシ生育観察会、始まる

5月20日(日)、今年も「カブトムシ生育観察会」がカレッジ北側の里山で始まりました。

今回は年3回シリーズの初回で、11家族34名、スタッフ11名が参加しました。幼虫を探し、見つかった幼虫を生育場所である「観察小屋」迄運び里山を知り学んでもらうイベントで、子供たちは、おっかなびっくりで、幼虫を探し出し、真剣に手にして観察していました。



【兵庫区会】

新入会員歓迎会 西山 久雄 (園16)

好天に恵まれた6月5日(火)兵庫区会新入会員歓迎会を開催したところ、新入会員5名を迎え、総勢15名が参加しました。

第1部は相楽園長、乾高彰氏の案内により相楽園内を1時間にわたり、ゆっくりと見学。相楽園の歴史がよくわかったと好評でした。

第2部は中山手の中華料理店でおいしいランチをいただき、時間を忘れ和やかに話が弾み、予定時間を大幅にオーバーしてしまいました。今後の区会運営に頼もしい新入会員が多数入会されたので、会長以下みんな喜んでます。



【長田区会】

新生長田区会 藤本 誠 (音20)

私たち長田区会は、約60名の会員で構成されています。

今年度から会長・副会長・会計・会計監査・幹事を互選し、わ本部アドバイザーの助言を受けながら新しい組織で運営を始めました。

今年は「臨時総会とバーベキュー」「バードウォッチングとランチ」「紅葉見学とランチ」「花見」などを企画し、会員の親睦を深めながら活動を広めたいと考えています。

5月の総会で組織など基本的なことを承認されたので、臨時総会で年間スケジュールを紹介しその後バーベキュー大会をおこないます。



【須磨区会】

伝統の須磨海岸清掃を新しい視点で

細野 恵久 (福3)

今年も4月30日に活動をスタートしました。7, 8月の海水浴シーズンの毎月曜日だけでなく、前後の3か月にも1回ずつ、年間延べ15回の活動パターンは区会発足以来20年引き継がれています。

その間、行政は海水浴場でのバーベキューや花火、喫煙を規制してきました。しかしそれだけで環境が保たれるわけではありません。須磨区会は行政の及ばない隙間を埋めようと努めているのです。例えば拾い集めたタバコの吸い殻は毎回1000本ほどにもなります。きれいに片付けておくことがポイ捨て防止になると信じているので



す。
“わSUMA”のゼッケンを着け、早朝の潮の香を吸いながらの清掃活動。あなたも一度参加してみませんか。

活動初期
(H11年8月
神戸新聞掲載)



【垂水区会】

◎ちょっと歩いて親睦会

垂水会の親睦イベントを6月5日(火)に実施しました。JR舞子に集合、明石海峡大橋を眺めながら、渚の街道を約1時間歩きました。懇親会会場では20名の参加となり、おいしい食事をいただいて、フルーツ演奏、マジック等で盛り上がりました。最後は全員が太極拳体操でリラックスして散会しました。



(垂水会ニュース6月号より編集:才上)

カレッジだより

KSC25期生共通授業 「グループわの活動」実施

4月18日(水)、カレッジホールにてKSC25期生対象の共通授業「グループわの活動」がおこなわれました。

従来、カレッジ卒業前に合同説明会や各教室での説明会の機会はありましたが、新入生対象に90分授業として説明の機会を頂くのは初めてのことで、貴重な取組となりました。当日の概要を報告します。

「グループわの活動」

1. 全体説明

水町理事長より、神戸市シルバーカレッジの設立と阪神淡路大震災の発生を振り返り、〈わ〉の生い立ちを説明。その後大きく育った〈わ〉の現状の組織や活動の概要を説明しました。



わらい届け隊のパフォーマンス

2. 活動紹介

米増理事より、まず本部、区会、部会の組織と活動状況をパワーポイ

ントでビジュアルに説明。

次に、〈わ〉の学習支援取組の事例報告として「戦争体験語り部」活動を記録動画で見てもらいました。

3. 20年間の回顧

藤田理事より、阪神淡路大震災時のしあわせの村の状況をスタートに、〈わ〉の20年をビジュアルで振り返り、また20周年記念事業の模様を紹介しました。

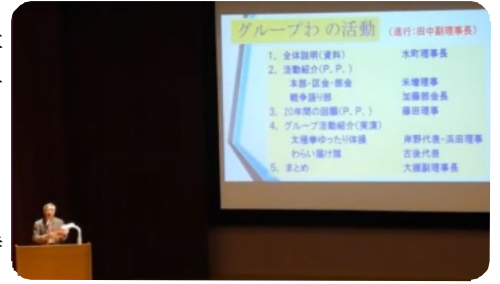
4. 活動紹介

①太極拳ゆったり体操

②わらい届け隊

約60の部会所属グループから2グループに登場いただき、ステージパフォーマンスをおこないました。会場の皆さんと一緒に身体を動かし、またおおいに笑いました。

なお、当日の授業は、グループわHP、動画サイトでご覧頂けます。



全体概要を説明する水町理事長

5. まとめ

最後に、大槻副理事長からきょうのまとめと「再び学んで他のために」の実践の呼びかけがあり、授業は終わりました。

熱心に授業を聴いて頂いた25期生の皆様、この機会を与えて頂いたKSC事務局の皆さまに感謝いたします。この授業としてのグループわ活動説明会を、ぜひ継続発展させていきたいと考えます。

なお、当日の授業は、グループわHP、動画サイトでご覧頂けます。

学習支援の取組

広陵小学校 環境体験学習 春・秋年2回実施へ

里山和楽会（環境部会、道満俊徳代表）では、この10年間毎年、広陵小学校3年生を対象に「秋の環境体験学習」をサポートしてきましたが、このたび学校側からの要請を受け、春にも学習をおこないました。



かがやきの森で班別写真 秋の学習が楽しみです。（取材・浜田）



甲緑小学校 新聞作り学習 7年前から毎年実施

グループわ 学習支援取組の一つとして、毎年、甲緑小学校5年生を対象に「新聞作り」学習をサポートしています。指導は南形 徹さん（生14、北区会）。新聞社勤めの経験を活かした活動です。

あらかじめ準備してきた記事や写真、グループ内で話し合っって紙面構成。見出しどうする？空きスペースに宣伝入れようか？……楽しく賑やかな半日でした。（取材・浜田）

第24回学園祭

10月13日（土）開催



お願い !!

学園祭バザー委員会より

チャリティーバザー

物品提供のお願い

☆受付期間：9/3(月)～14(金)

土日は除く

☆受付時間：9：30～15：00

☆受付場所：1階ふれあいホール
自販機横

わだより

We love “もったいない” 3か月の活動実績

回収古着530kg、古本募金7,000円

行動指針“もったいない”を実践すべく、カレッジ構内に「古本」「古着」の回収ボックスを設置し、今春より活動を開始しましたが、このたび4-6月実績数値がまとまりました。



- ・4-6月活動実績：活動延日数12日、活動延人数37名
- ・4-6月回収実績：古着533.8kg
古本募金395点・7,139円
古本出荷段ボール6箱

代表・富川 修さんのコメント

「単純に年間ベース換算すると古着2トン超、古本募金5万円といった数字になり、順調な立ち上がりと思います。古本の方は、品質的に換金できないものも多いのですが、直ちに廃棄やリサイクルに回すのではなく施設に寄付されたりしていますので、役に立っていると思います。いろんな運営上の問題がありますが、これからも話し合いながら進んでいきたいですね」

(取材・浜田)

常磐大生に”自分史を語る”

生14・南形 徹

看護学科で学ぶ若者にお年寄りが“自分史を語る”というユニークな催しが5月18日、神戸常磐大（長田区）であり、グループ〈わ〉の7人が参加。4時間にわたって和やかなお喋りタイムを過ごしてきました。

対象学生は81人。〈わ〉の参加者は淡路忠義(福5)、高木良治(福10)、竹田友子(音19)、土井昭政(国10)、南形徹(生14)、元田弘忠(生9)、渡辺寛治(国10)の皆さん。学生は1グループ6~7人ずつに分かれ、シルバー側が1人ずつ担当して、午前と午後の2回行われました。

老年看護学という授業の一環で、学生側の質問に答えてシルバー側が生い立ちや家族、仕事のこと、幼時の思い出、学生時代や結婚のこと、カレッジでの活動などを自由に語るという形で進められ、中には、「初恋は？」というような質問も飛び出し答えに窮する場面もありました。最後に「これからどう生きたいか」という難しい問いに答えて午前の部を終了。午後も学生のメンバーを変え、同じように行われました。この催しは昨年に次いで2回目。大学側は「来年もぜひ」と乗り気なので、希望者はどうぞ。



しあわせの村

夏休み工作塾

場所 しあわせの村研修館 主催・後援は NPO法人 社会福祉センターグループ (078)743-8101 (公財)こうへ市民会館協賛会 (078)743-6006

日時 **8月4日(土)**

① 10:00~12:00
② 13:00~15:00

[当日受付イベント] 当日先着順

工作内容

- ▶Aブース…木工工作(機関車、動物車、モビール等)
- ▶Bブース…和紙の折り染め、押し花絵葉書・葉、ネイチャークラフト
- ▶Cブース…折り紙、木札工作(焼き絵)、竹細工、つる細工

※各ブースからひとつずつ、計3つの作品を作ることができます。

定員：①②各回先着150名(完全入れ替え制) **小学生対象** **参加費500円**

当日9:30から、しあわせの村研修館ホール入口にて午前・午後の両方分の整理券を配布します。
※ただし、木工工作は、午前・午後先着各70名とさせていただきます。
Aブースの木工工作が作れなかった方は、B、Cブースから3作品目をお選びいただけます。

☆ 〈わ〉の会員数 (2018/06/25現在)

1,466名 (うち22期生154名)

☆ 水の科学博物館 入場者数

19,010人 (年間目標66,000人)

入場者数増にご協力をお願いします!!

ご存知ですか?

子育て支援・しあわせの村駐車料金 **無料!**

ただし、18歳未満のお子様同乗の車両(大型除く)

お子様同伴で各施設窓口へ➡ 駐車券割引処理

☎ 夏恒例の“夏休み工作塾”

8/4(土) しあわせの村研修館にて

編集後記

ぎやらりーわ 新編集体制のスタートです。新たな3人チームで、不慣れな点多々ありますが、〈わ〉の各グループの活発な活動紹介をメインにお知らせしていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。(浜田)

ホームページ(HP)を担当して1年が過ぎました。皆様のご協力により閲覧回数も月1000回を超えるようになりました。さらに閲覧が増加して、HPの掲載効果が上がりますように、皆様の活動情報を提供していただきましようお祈ひします。(才上)

〈わ〉に入ってから最初のぎやらりーわの発行、初めての定期総会の記事、「ワード」での編集に慣れていたが、初めての「編集長」ソフトによる編集など、初めて尽くしで戸惑いながらやっと完成でき、ほっとしているところです。よろしくお祈ひします。(八木)

photo
ニュース



6/13(水)初夏の森林浴ウォーク
「森の仲間」の協力で実施。25名が参加。天気に恵まれ、皆さん元気に約7キロを歩きました。



親子カブトムシ生育観察会①



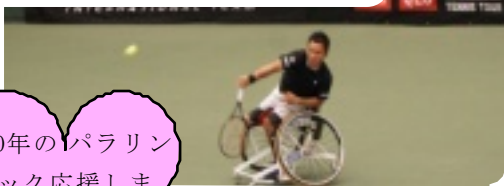
5/20(日) 11家族34名の参加。幼虫を探して観察小屋に運びました。



カブトムシは3回観察し、1匹の成虫が育ちました。



閉会後の集合写真



2020年のパラリンピック応援しましょう!!



男子S優勝は真田卓選手。

女子S優勝は上地結衣選手。

DUNLOP KOBBE OPEN



わいわいストリート 2018
5/5(土)、GW恒例のイベントです。好天に恵まれ1600人を超える親子が来場されました。



このページの取材、撮影・才上



「ホームページ&動画サイト」でホットニュースを!!

皆さま、ご存知でしょうか? グループわの活動を素早く知るためにはホームページが一番!! 区会や部会のホットニュースが満載です。活動を動画で紹介する動画サイトもぜひご覧ください。



GoogleやYahoo!の検索画面で「グループわ」と入力 → グループわの見出しをクリック → 上のHPが開きます!
スマホ、タブレットはQRコードから

